

働き方改革が要請される時代の 法務業務の『効率化』の進め方 -リーガルテック活用を見据えて-

専門性の高い法務関連業務をいかにして効率化していくか、
事例（契約書チェックなど）を交えて今後の可能性を検討します

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 8月 2日（金） 14:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

《開催にあたって》

長らく議論が続いていた働き方改革ですが、2019年4月以降、関連法案が遂に施行されます。同一労働同一賃金や、メンタルヘルス対策などの制度が盛り込まれるなか、何となく大きな関心事となりそうなのは、長時間労働の是正に伴う各種働き方の見直しではないでしょうか。各社とも「業務効率化」の名のもとに、労働時間を圧縮するための努力が行われていると思います。そんななか、どのような業種業態、規模感の会社であっても同様に発生する契約書のチェックや修正案の検討などの「法務業務」は、特に専門性が必要とされ、業務効率化が進みにくい分野と思われがちです。本セミナーでは、働き方改革における労働時間にスポットを当てて法改正の概要及び注意点を解説するとともに、法務業務を例に、現場でのような取り組みが可能なかを具体例と実例をあげて解説していきます。法務部門と事業部門の連携に悩まれている方、法務業務の知見集積・教育体制に課題を感じている方、もちろん法務業務全般の業務効率化に悩まれている方々全てに学びの機会となっていたらと思います。

講師 GVA TECH 株式会社 弁護士・弁理士 恩田 俊明 氏

講師紹介 2005年東京都立大学法学部卒業、2008年駿河台大学法科大学院修了、2009年最高裁判所司法研修所入所 2010年松尾千代田法律事務所入所、2012年工藤一郎国際特許事務所入所、2015年、GVA 法律事務所入所、現在に至る、主な業務は知的財産権関連法務（特許、意匠、商標、ノウハウ、著作権等）、IT 関連法務を担当

《申込方法》 当会ホームページ（<https://www.bri.or.jp>）からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料：1名（税込・資料代含） ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況（0発信の有無など）をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円（本体価格 32,000円）	一般	37,800円（本体価格 35,000円）
-----	-----------------------	----	-----------------------

191515-0303		法務業務の『効率化』の進め方	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認いただけます。（[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]）

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

1. 働き方改革関連法の施行を前に、企業が直面する課題とは？

～改正法の仕組みと内容～

- (1) 「働き方改革実行計画」の概要
- (2) 同一労働同一賃金にまつわる制度変更
- (3) 副業・兼業にまつわる取り組み
- (4) テレワーク・リモートワークにまつわる取り組み
- (5) 勤務間インターバルの考え方
- (6) 時間外労働の上限規制にまつわる制度変更

2. 管理業務の効率化～法務業務の場合～

- (1) 業務効率化の一般的なアプローチまとめ
- (2) 法務業務の効率化を阻む壁とは？
- (3) 法務業務の「棚卸し」～法務業務の「見える化」～
- (4) 法務業務効率化のカギ～事業サイドと法務サイドとの連携～

3. 法務業務効率化の実例と今後の可能性

- (1) 契約書管理サービスの活用
- (2) 契約書編集サービスの活用
- (3) 契約書レビュー（契約交渉支援）サービスの活用
- (4) 汎用的なサービスから、各社ごとにカスタマイズされたサービスの活用へ

4. 質疑応答

※当日は最新情報を盛り込む関係上、講義内容を若干変更する可能性があります。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。